

■学校経営のポイント

令和2年度の各教科等の年間指導計画の作成

小島 宏

新学習指導要領の完全実施が目前に迫っている。これを効果的かつ円滑に進めるためには、質の高い教育実践の基盤となる各教科等の年間指導計画の作成が不可欠である。よき伝統・慣習は大切にしつつも新しい観点からの大胆な見直しが求められる。

教育課題の理解

まず、諸課題、特に学校教育を取り巻く教育課題について理解し、例えば以下のような観点から明確・簡潔に整理し、教職員に示し、チーム学校として取り組む基盤作りに努めたい。

○新学習指導要領の目指すものの概要、○学校経営案(経営方針)の作成、○カリキュラム・マネジメントへの対応、○「現代的な教育諸課題」への対応、○教職員の人材育成、○教育課程や授業などのPDCAサイクルの確立、○学校の危機管理、○保護者・地域との連携・協力、など。

カリキュラム・マネジメントの一環

次に、教育委員会が示した「教育課程編成の手引き」を理解し、カリキュラム・マネジメントの一環としての各教科等の年間指導計画の基盤となる教育課程届について、以下の点から検討したい。

①学校の教育目標、②教育目標を達成する基本方針、③指導の重点:○各教科、道徳科、外国語活動(小)、総合的な学習の時間、特別活動、○生徒指導、○キャリア教育(進路指導)、○情報活用能力、○特色ある教育活動、④授業日数及び授業時数の配当、1単位時間、⑤年間学校行事、など。

全体計画の作成

さらに、道徳教育、体育・健康、人権教育、生徒(生活)指導、キャリア教育(進路指導)などについては、全体計画を作成し、全教育活動を通じて横断的・

関連的に進める必要がある。

その際、全教員が役割分担をして共通理解のもとに協働作成し、実践につなげるようにしたい。

年間指導計画の作成

新学習指導要領に基づいて「質の高い教育活動を進める」ためには、各教科等の学年別・単元別の年間指導計画の作成が不可欠である。

その際、単元の目標、小単元の目標、学習活動、評価規準(知識・理解、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)を組み込むようにする。

そして、学校や児童生徒の実態などから可能な限り次の事項について盛り込むことも考えたい。なお、可能であれば、近隣の学校との協力も考慮したい。

○ICT活用、○地域の人的・物的資源の活用、○指導体制(TT方式、少人数指導、習熟度別指導など)や学習形態(個人、ペア・グループ、全体、学年合同など)の工夫、○小学校教科担任制の導入、○教材・教具の開発・改善、など。

教師の働き方改革を考慮

全体計画や年間指導計画は、ゼロからの出発を控え気味にし、現在のものを新しい教科書に対応したものに改善したり、教科書の教師用指導書の参考例を自校流にアレンジしたりするなどの工夫をし、教師の働き方改革との関連にも配慮して、授業(子どもと向き合う時間の確保)そのものを重視したい。

管理職のリーダーシップ

小学校の令和2年度版年間指導計画の作成は、新教育課程のスタートに当たることもあり、短期間で行わざるを得ない。管理職の適切な指導・指示、教員からの相談への助言、資料提供などの支援が必要である。

(こじま・ひろし=元東京都公立小学校長・(公財)豊島修練会理事長)

●校長・教頭のための学校経営手帳！ PDCAが回る！ 《好評発売中！》

2020 スクール・マネジメント・ノート

【編集】教育開発研究所 A5変型判/定価(本体 2,400円) + 税

■研修誌・図書の小社への直接のお申込みは、小社HP <http://www.kyouiku-kaihatu.co.jp> をご利用ください。

